

岐阜新聞真学塾

出題 蟻雪ゼミナール

大垣駅前校・福手達雄



普段は高校生に数学を教えていますが、理科も好きです！楽しい理科の世界を届けます！

問題【理科】

- (1) 1年の中で、太陽が出ている時間が最も長い日を何というか？
- (2) 1年の中で、太陽が出ている時間が最も短い日を何というか？

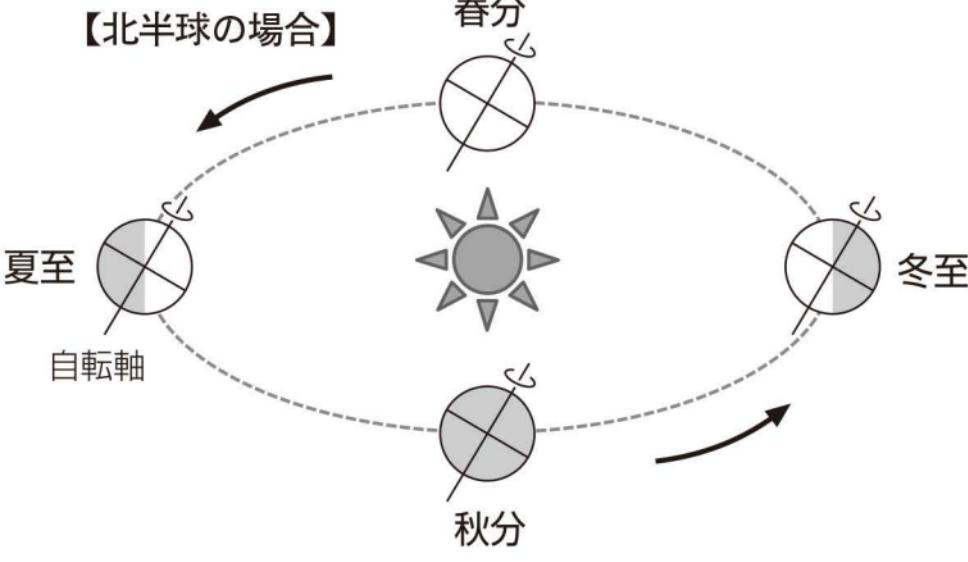
豆知識 雑学コラム

昼夜の時間、なぜ変わる？

最近暑い日が続いていますね。先週の月曜日、6月21日は夏至の日でした。1年で最も昼（日の出から日没まで）が長い日です。太陽光があたる時間が長いので、暑いのも納得ですね。

ちなみに、昼の時間が変わるのはなぜですか？これは、地球の自転軸が地球の公転面に垂直でないからです。自転とは、地球自身がコマのようにくるくる回っていることで、公転は、地球が太陽の周りを回っていることです。下図のように、自転軸が公転面に対し傾いているので、北半球が太陽側に傾いているとき、昼が長くなります。この日を夏至といいます。例年、6月の21日か22日に夏至になるのですが、過去には1903年に23日が夏至になりました。また、25年後の2056年は20日が夏至となります。日にちがずれるのは、うるう年が関係しています。

【北半球の場合】



また、地球の自転軸の傾きは 23.4° なのですが、この絶妙な傾きのおかげで、四季が生まれ、季節ごとのイベントも生まれます。冬至の日はかぼちゃを食べたり、柚子湯に入ったりといった風習がありますが、夏至の日はこれといった風習を聞かないと思います。これは、日本ではこの夏の時期、農作業が最も忙しい時期であり、イベントごとをやっている場合ではなかったためです。しかし、海外では夏至祭というものが行われています。特に北欧では、1日中太陽が沈まない白夜があるため、特別な日となっています。自転軸の傾きで文化の違いがあるのは面白いですね。

これから、昼の長さが短くなっていますが、夏は真っ盛りとなります。暑さに気を付けて、熱中症対策を怠らないようにしましょう！

【解答】

夏季(乙)

冬季(甲)